

大地を見つめる国土地理院



マップ博士

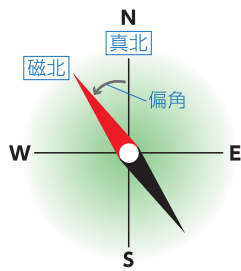
今回は方角の話じゃよ。風水? 運勢? これらも大事じゃが、その基本となる地図で考えてみよう!

みなさんは“北”という方角をどうやって知りますか。地図、北極星、方位磁石、カーナビやスマートフォン、太陽と時計^{じしん}、いろいろありますが、これらはみな同じ“北”なのでしょうか。

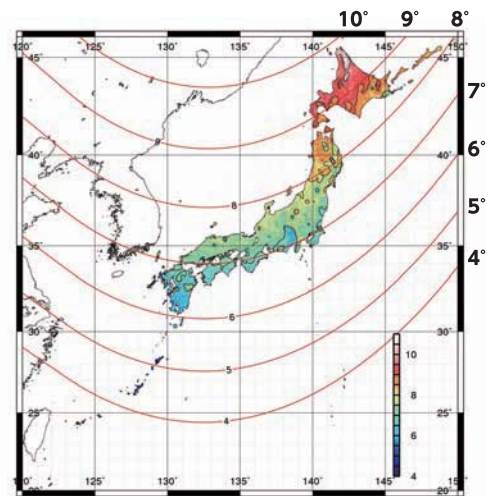
まず、地図の北は、ほとんどの場合「真北(シンポク・マキタ)」という地球の北極の方向です(一部、座標の北で表される地図もあります)。北極星も同じく真北に位置しています。

また、方位磁石の北は、磁石の指す方向の「磁北(ジホク)」になります。

そして、カーナビなどが示す北は、GPS機能から得られる位置情報である「真北」と地磁気センサーの方角情報である「磁北」を組み合わせたものになります。こうやってみると“北”という方角は、真北と磁北に大別されます。



載し、方位磁石を用いた利用者が方向を補正できるようにしています。



日本周辺の偏角の様子

近年、地磁気センサーから得られる「方角情報(磁北)」とGPS機能から得られる「位置情報(真北)」の不一致を補正したもの(地磁気データ)がカーナビなどに標準搭載されつつあります。地磁気測量によって得られた地磁気データが、ずれのある両者を結びつける大きな役割を果たしているのです。そのおかげで私たちは徒歩ルート案内などにより目的地に間違いなくたどりつけることができます。



カーナビ画面(イメージ)

この真北と磁北は微妙にずれています。2つの北のな^{へんかく}す角度を偏角といい、時間と場所によって異なります。

国土地理院では、地磁気測量によって日本全国の偏角を観測し、磁気偏角一覧図などにまとめて公表しています。また、国土地理院発行の地形図にも偏角を掲

「地磁気」

方位磁針のN極はS極にひかれるので、地球は北がS極、南がN極の大きな丸い磁石であるといえます。磁石のまわりには磁力が作用し、このような空間を磁場といいます。地球の磁石によって生じる磁場のことを地磁気といいます。

